第 53 回 内分泌代謝研究会

▼テーマ

「ホルモンの作用を多方面から考える」

▼特別講演

「アミノ酸コードから読み解く内分泌代謝制御
ーインスリン・IGF・糖尿病、そして栄養応答型医療への展開ー（仮題）」

東京大学大学院農学生命科学研究科　高橋 伸一郎 先生

▼ミニセミナー

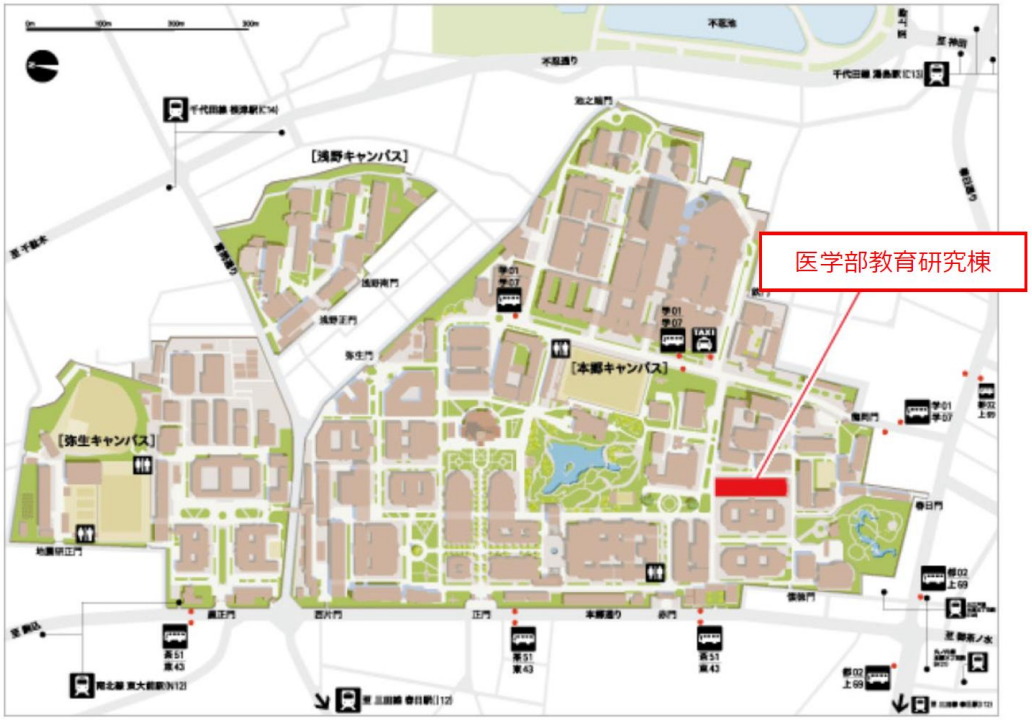
「内分泌性肥満と視床下部障害の診療 ～新たな治療の選択肢～」

岡山大学学術研究院医歯薬学域 総合内科学　大塚 文男 先生

◎ 日時 ： 2026 年 11 月 14 日（土） 午後 1 時 ～ 午後 5 時 30 分（予定）

◎ 会場 ： 東京大学医学部 教育研究棟 13 階セミナー室

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1



◎ 会費 ： 3,000 円

当研究会では、「（社）日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医認定更新単位 2 単位が付与されます。

世話人 ： 杏林大学医学部 糖尿病・内分泌・代謝内科学教室　安田 和基

会　長 ： クリニックやまだ　方波見 卓行

【プ ロ グ ラ ム】(予定)

特別講演

司会 ： 安田 和基（杏林大学医学部 糖尿病・内分泌・代謝内科学教室）

アミノ酸コードから読み解く内分泌代謝制御
ーインスリン・IGF・糖尿病、そして栄養応答型医療への展開ー

東京大学大学院農学生命科学研究科
教授 高橋 伸一郎 先生

ミニセミナー （共催:リズムファーマ株式会社）

座長 ： 石川 真由美（東邦大学医学部 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野）

内分泌性肥満と視床下部障害の診療 ～新たな治療の選択肢～

岡山大学学術研究院医歯薬学域 総合内科学
教授 大塚 文男 先生

〔一般演題〕

1. 高 Ca 血症クリーゼの発症・寛解を繰り返し、術前の局在診断に難渋した機能性副甲状腺嚢胞の一例
   飯郷 徹
   帝京大学医学部 内分泌代謝・糖尿病内科

2. P3H1 ヘテロ接合性ミスセンスバリアントを認めた成人骨形成不全症の一例
   香曽我部 福雄
   帝京大学ちば総合医療センター 第三内科学講座

3. 意識障害を契機に、異所性 ACTH 産生腫瘍による高コルチゾール血症が疑われ、診断と治療に難渋した一例
   冨沢 隆成
   獨協医科大学埼玉医療センター 糖代謝・内分泌内科

4. 反復性の原発性副腎皮質機能低下症所見と鉱質コルチコイド作用過剰を呈し、エトミデートの関与が強く疑われた若年男性の一例
   成田 大樹
   東京大学病院 腎臓・内分泌内科

5. 術後 1 年半以上経過しても HPA axis 回復の兆候を認めない副腎性 Cushing 症候群の 2 例
   七尾 裕太
   虎の門病院 内分泌代謝科

6. 頭蓋咽頭腫術後に、低体温症で冬季に頻繁に入退院を繰り返す1例
   田中 利明
   杏林大学医学部 糖尿病・内分泌・代謝内科学教室